



平和首長会議ニュース

2018年12月 / 第108号

平和首長会議加盟都市数
163 か国・地域 7,688 自治体
日本国内加盟自治体数：1,732
(2018年12月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆未加盟自治体への加盟要請について
- ◆「ICAN シティーズ・アピール」について
- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテストの作品を募集しています
- ◆平和首長会議事務局がテヘラン市(イラン)からインターンを受け入れました
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
- ◆11月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 か国・地域 7,688 自治体

■未加盟自治体への加盟要請について

先月、岐阜県高山市において開催された第8回平和首長会議国内加盟都市会議総会において、平和首長会議加盟都市、とりわけ海外の加盟都市の増加を目指し、各加盟自治体がそれぞれの姉妹・友好都市等に対して各自治体の状況に応じた加盟要請活動を展開していくことが決定されました。

このたび、姉妹・友好都市等への加盟要請の際に活用していただくための「添書ひな形(英語版)」を作成し、12月12日付のEメールにてお送りしています。

「添書ひな形(英語版)」に併せて送付・手交していただく「加盟要請書」は平和首長会議ウェブサイトからダウンロードしていただくことが可能です。

▼「加盟要請書」(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/outlines/join.html>

今後とも、様々な機会を活用して加盟要請活動を展開していただきますようお願いいたします。

■「ICAN シティーズ・アピール」について

2017年のノーベル平和賞を受賞したICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)は、11月7日、世界の地方自治体が「核兵器禁止条約」に対する支持を表明する取組「ICAN シティーズ・アピール」を開始しました。

同アピールは、「核兵器禁止条約」を批准していない国の地方自治体が、本国政府へ条約締結を呼び掛ける取組であり、市や町がアピールに賛同することで、「核兵器禁止条約」への支持拡大をはかることを目的としています。

▼「ICAN シティーズ・アピール」詳細(英語、ICAN ウェブサイト):

<http://nuclearban.org/cities>

平和首長会議では、2020年までの行動計画において、ネットワークを構築していく団体の一つとしてICANを挙げており、核兵器廃絶という共通の目標に向け連携していくこととしています。

「ICAN シティーズ・アピール」の開始にあたり、平和首長会議は、小溝事務総長名により役員都市に対して書簡を送付し、各地域・都市がそれぞれの状況に応じて同アピールに対応していただくよう依頼しました。

▼「ICAN シティーズ・アピール」についての平和首長会議事務総長書簡(英語、平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/english/whatsnew/news/data/20181122/Letter_from_MfPSG_re_ICAN_Cities_Appeal.pdf

シドニー市(オーストラリア)、グラノラズ市(スペイン)、マンチェスター市(英国)などの平和首長会議加盟都市が「ICAN シティーズ・アピール」への賛同を表明し、市議会において本国政府に「核兵器禁止条約」締結を求める決議を採択しています。

=====
■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテストの作品を募集しています
=====

平和首長会議では、第9回平和首長会議総会において策定した行動計画(2017-2020)に重点取組事項として「次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育の実施」を掲げています。その一環として、加盟都市における平和教育のさらなる活性化を目指して、全加盟都市の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテストを実施することとし、現在作品を募集しています。

▼絵画コンテストの詳細(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section08>

加盟自治体の皆様におかれましては、作品の募集に関して域内の学校等に幅広く情報提供いただくとともに、応募者を取りまとめの上、12月28日(金)までに必要書類をEメールで下記のアドレスにご提出いただきますようお願いいたします。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

◎提出期限:

平成30年(2018年)12月28日(金)

=====
■平和首長会議事務局がテヘラン市(イラン)からインターンを受け入れました
[2018年11月12日～28日]
=====

平和首長会議では、2014年度から平和首長会議インターンシップを実施しています。この事業は、平和首長会議の海外加盟都市から若手職員等をインターンとして広島に招へいし、平和首長会議事務局の業務に従事してもらうことにより、国際的な業務の充実及び事務局と各加盟都市との連携強化を図るものです。また、インターンに被爆の実相についての理解を深め、ヒロシマの平和への思いを共有してもらい、帰国後にそれぞれの都市において世界恒久平和の実現に向けた活動を推進してもらうことを目的としています。

11月12日～28日まで、平和首長会議の理事都市であり、イランにおけるリーダー都市でもあるテヘラン市から、同市が運営する「テヘラン平和博物館」職員のサハル・セイエド・タフレシハさんをインターンとして受け入れました。タフレシハさんは、「来日前、広島の前爆投下についてはほとんど知りませんでした。今回のインターンシップを通じて、平和首長会議の活動を深く知るとともに、原爆被害の実相やその後の影響について多くのことを学ぶことができました。平和記念資料館の見学や被爆体験証言の聴講など、素晴らしい経験をさせていただきました。この経験を是非母国で共有したいと思います」と感想を述べています。

今年度末までに、ボルゴグラード市(ロシア)、モントリオール市(カナダ)からのインターンを受け入れる予定です。

▼テヘラン市からのインターンの活動について(平和首長会議フェイスブック):

https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/2027448344182555?_tn=-R

https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/2035255473401842?_tn=-R

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第 50 回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]
=====

サーロー節子さんが 11 月に古里の広島を訪れました。カナダ・トロント市に住む広島出身の 86 歳の被爆者です。1 年前、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)へのノーベル平和賞授賞式で演説し、核兵器廃絶を世界に訴えたことで、国際社会から大きな注目を集めています。

サーローさんは広島女学院高等女学校 2 年の時に、学徒動員先の陸軍の司令部で被爆し、がれきの中からはい出して助かりました。被爆死した同じ学校の生徒や先生など 351 人の名前を書いた横断幕を持って世界を回り、一人一人の犠牲の意味を問い続けています。今回は母校の広島女学院大学で講演したほか、若者たちと交流しました。核兵器禁止条約に被爆国の日本政府すら背を向けていることを繰り返し批判し、被爆地からの行動と発信を促しました。

広島滞在中、サーローさんは中国新聞ジュニアライターの中高生たちのインタビューに、次のように答えました。「私が話すのは、子どもや孫に安全な地球を渡したいから。若い人の役割にも期待します」。この 1 年、残念なことに核兵器禁止条約を巡って、核兵器廃絶を願う私たちの思いと、核保有国やその同盟国との溝は埋まりませんでした。若い世代の声をもっと集め、安心して暮らせる地球をつくるために、国際世論を高めなければなりません。

関連記事は次のアドレスで読めます

○中国新聞ジュニアライター サーローさんに聞く

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=88279>

○平和への思い 世代超え共有 サーローさん、三次高訪問

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=88262>

○核廃絶 広島から行動を サーローさん、広島女学院大で訴え

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=88118>

○核禁止条約への姿勢問う サーローさん 広島市長、知事と面会

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=88096>

○「生きて」被爆者 サーロー節子さん(20 回連載)

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=85237>

○ノーベル平和賞授賞式 サーローさん演説全文

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=79180>

=====
■加盟都市の活動紹介
=====

*広島市

核兵器廃絶を訴える写真展「50 Cities - 50 Traces (50 の都市 - 50 の軌跡)」を開催

広島市は、姉妹都市であり、平和首長会議の副会長都市であるハノーバー市が積極的に支援している写真展「50 Cities - 50 Traces」を、11 月 18 日から 30 日まで広島国際会議場 1 階ロビーで開催しました。

この展覧会は、1968 年に米国、旧ソビエト連邦、英国の三か国が NPT(核兵器不拡散条約)に署名してから本年で 50 年目を迎えることを記念して、シュトゥットガルト市(ドイツ)のプロジェクト・オフィスとハノーバー市により企画され、2020 年までに世界の 50 都市(平和首長会議加盟都市)で開催し、都市の破壊や核兵器の保有に反対するメッセージを発信することを目指しています。広島は、8 か所目の開催地になります。

会場には、芸術家クラウディア・ディートヴィツヒが、日本の 10 都市を含む 50 都市のアスファルトに残る様々な軌跡を撮影し、彩色を施した作品が展示されました。展覧会の初日は、恒例のイベント「国際フェスタ」の開催日にあたり、会場は 2 千人近くの来場者で賑わいました。

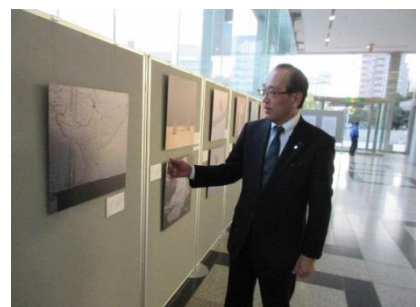
展覧会開催に関するお問合せは、下記メールアドレスに英語でお願いします。

▼ハノーバー市 平和首長会議担当

Email: mayorsforpeace@hannover-stadt.de



11 月 18 日オープニングセレモニーの様子



松井広島市長が観覧

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、新しい行動計画に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事实施の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

海外加盟都市の平和首長会議行動計画に基づく取組に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

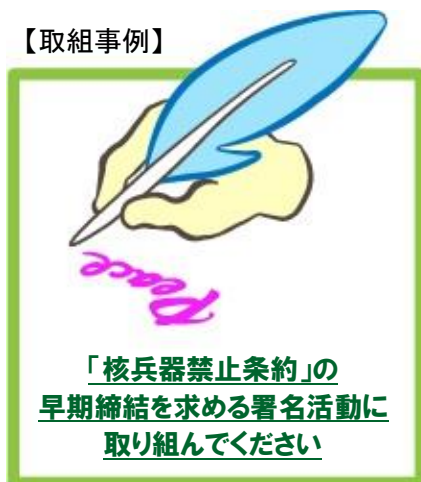
▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧(海外)(12月12日現在)(平和首長会議ウェブサイト):
http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2018_List_of_Activities_jp.pdf

=====
■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

昨年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):
http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

【取組事例】



=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、昨年の第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※この事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>



=====
■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として「『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動」を展開しています。

平和首長会議に寄せられた「『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名」と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



=====
■11月の平和首長会議会長訪問
=====

松井一寛広島市長・平和首長会議会長は、11月に次のような海外からの来訪者をお迎えしました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

- * 11月2日(金) アフメド・マハムード・スウェイド・アフメド モーリタニア・イスラム共和国外務・協力事務次官
- * 11月15日(木) アリソン・スメイル グローバル・コミュニケーションズ担当国連事務次長
- * 11月21日(水) ひろしま平和大使 サーロー 節子氏
- * 11月26日(月) 中国人民平和軍縮協会代表団一行

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 163 カ国・地域 7,688 自治体
=====

12月1日付で、14自治体が加盟し、加盟自治体数は7,688(163カ国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

日本国内では、新ひだか町(北海道)、利島村(東京都)が加盟し、国内加盟自治体数は1,732(加盟率99.5%)となりました。

海外については、エジプトからダカリーヤ県が加盟しました。今年10月にエジプト・アラブ共和国高等教育大臣・科学研究国務大臣が広島市を訪問された際に、松井会長が加盟拡大に係る協力を要請したところ、同大臣の呼び掛けにより今回の加盟が実現しました。また、副会長都市でありドイツのリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより、ドイツの11自治体が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いします。

▼12月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2018/newmembers1812_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp